実効選択度	ブロッキング特性	隣接チャネル選択度
	1　チャネル間隔が一八〇kHzのものにあっては、受信感度が基準感度より六デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）七・六MHz離れた周波数において（一）五六デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）及び（±）十二・六MHz以上離れた周波数において（一）四四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）（複号同順とする。）であって帯域幅が五MHzの変調された妨害波を同時に加えた場合においてスループットがその最大値の九五％以上 2　チャネル間隔が三MHzのものにあっては、受信感度が基準感度より六デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）六MHz離れた周波数において（一）五六デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）及び（±）九MHz以上離れた周波数において（一）四四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）（複号同順とする。）であって帯域幅が三MHzの変調された妨害波を同時に加えた場合においてスループットがその最大値の九五％以上 3　チャネル間隔が五MHzのものにあっては、受信感度が基準感度より六デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）一〇MHz離れた周波数において（一）五六デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）及び（±）一五MHz以上離れた周波数において（一）四四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）（複号同順とする。）であって帯域幅が五MHzの変調された妨害波を同時に加えた場合においてスループットがその最大値の九五％以上	1　チャネル間隔が一八〇kHzのものにあっては、受信電力が基準感度より一四デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）二・六MHz離れた周波数において、基準感度より四七デシベル高い帯域幅が五MHzの変調された妨害波を加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上

実効選択度	ブロッキング特性	隣接チャネル選択度
	受信感度が基準感度より六デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）一〇MHz離れた周波数において（一）五六デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）及び（±）一五MHz以上離れた周波数において（一）四四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）（複号同順とする。）であって帯域幅が五MHzの変調された妨害波を同時に加えた場合においてスループットがその最大値の九五％以上	受信電力が基準感度より一四デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）五MHz離れた周波数において、基準感度より四五・五デシベル高い帯域幅が五MHzの変調された妨害波を加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上